

## play framework

### Play frameworkが解決する課題

既存のJavaのWebフレームワークは重厚長大であり、整然としたプログラムができる代わりに生産性が高くないという問題があります。いまは「時代の流れが速い」といわれています。システムを作るときも、じっくり腰を据えて作るより「スピード感」が相対的に重要になってきています。また、スピード感と同時に求められるものが「変更に対する強さ」(柔軟性)です。

### Play frameworkが見せる新しい世界

そしてPlay frameworkは、このRuby on Railsから影響を強く受けたフレームワークです。つまりPlay frameworkが見せる新しい世界とはRuby on Railsが見せる未来とかなり近いものがあります。

なおJavaとRubyでは、コンパイルを要する言語と、スクリプト言語という差があります。Javaはソースの変更のたびにビルドし直す必要があります。通常はIDEで、その辺りを吸収できますが、IDE自体がヘビーです。Javaがコンパイルを要する言語というところはPlay frameworkでも変わりませんが、Rubyに近い操作感を得られるように工夫されています。

Play frameworkでは、ソースが更新されると即座に変更が反映されるようになっています。現在IDEでの開発が主流ですが、フレームワークでこういった機能を持つためIDEがなくても軽量なエディタだけで開発可能です。